

2022年10月26日

どなたでも参加いただける無料のオープンセミナー

月経をとりまく諸問題に光をあてる オープンセミナーを開催

日時：10月31日（月） 14：45～16：15

場所：東洋大学白山キャンパス（文京区白山5-28-20）

※対面・オンラインのハイブリッド開催

東洋大学（東京都文京区／学長 矢口悦子）国際共生社会研究センターは、2022年10月31日（月）に「MeW Project」月経をとりまく諸問題に光をあてる試みをテーマに無料のオープンセミナーを開催します。

近年、国際開発（開発支援）の場では、月経の対処、つまり生理用品の入手や生理用品を取り替えやすいトイレの整備、月経教育などが「解決すべき課題」として認識され、国際機関やNGOによる支援が広がっています。

月経をめぐる問題は、開発途上国だけでなく先進国とよばれる欧米などでも、貧困に起因して生理用品が入手困難な状況があることに対して女性たちが声を上げ、“period poverty（生理の貧困）”という言葉とともにこの状況を打開しようというムーブメントが大きくなりつつあります。

「MeW（ミュー）：Menstrual Wellbeing by/in Social Design」とは、社会のデザインを見直すことで月経をとりまく諸問題を明らかにし、その解決を通してよりよい未来を目指していくというものです。

具体的には《生理用品の無償提供用のディスペンサーがトイレ内にあること》によってもたらされる変化を記録し、また、この変化をきっかけに、当事者たちがこれまで誰にも開示することがなかった苦痛や不満などの声を発する機会を創出すること、そして、そうした声をすくいあげて分析することを通して、月経をとりまく諸問題をさまざまな角度から明らかにすることを目的としています。

独自に開発した生理用品の無償提供用のディスペンサーを大学内のトイレに設置し、利用者の声や消費の実績を記録する。こうした実証実験と意見の収集を通じて、日本における月経の諸課題を明らかにし、月経のある人の生活改善を目指すものです。

本センター客員研究員であり、大阪大学大学院人間科学研究科の杉田映理教授の大阪大学での試みが起因となり、東洋大学でもMeWプロジェクトが始動しています。



ディスペンサー設置の様子

<記>

- 日時：2022年10月31日 月曜日 14:45～16:15
- 場所：東洋大学白山キャンパス8号館8601号室（文京区白山5-28-20）
※対面（事前申し込み制）とオンラインのハイブリッド開催

■プログラム

- ・「月経をめぐる今日的なグローバルなムーブメント」
杉田映理（センター客員研究員、大阪大学大学院人間科学研究科）
- ・「進化したサニタリーボックスと生理用品の廃棄への問題提起」
西島一男（日本カルミック）
- ・「大阪大学におけるMeWプロジェクト」
小塩若菜（大阪大学大学院人間科学研究科大学院生）
- ・「東洋大学におけるMewプロジェクトの始動」
中村香子（センター研究員、東洋大学国際学部）・坂本楓（東洋大学国際学部4年生）

■詳細は、本学公式Webサイトをご確認ください。

<https://www.toyo.ac.jp/research/labo-center/orc/event/2022/1031/>

■取材申し込み方法

- ・対面参加の場合 **※事前申し込み制 10月31日（月）10：00まで**
対面での取材を希望される方は、以下の申込みフォームより事前申し込みの上、ご来場ください。

<https://forms.gle/g26RPo3336REwqA29>

※メディア以外の対面参加希望者は、10月31日（月）11：00までに
国際共生社会研究センター（cesdes.sec@toyo.jp）宛のメールにて
参加者氏名、所属（ご職業など）をお知らせの上、ご来場ください。



・オンライン参加の場合

取材申し込みは**必要ありません**。以下のURLから、ご参加いただけます。

<https://zoom.us/meeting/register/tJModu2srjliHtURuBuSCMC5B7kRL4QVwoMW>



【本件に関するお問い合わせ先】

東洋大学PR事務局（株式会社電通PRコンサルティング内） MAIL： toyo@group.dentsuprc.co.jp